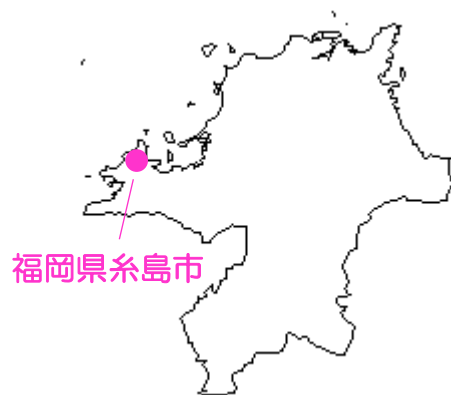


# 有限会社久保田農園

※平成 29 年 3 月現在

多様な労働形態で 400 アイテムのハーブ・野菜を生産

代表者名	久保田 真透	資本金	3 百万円
設立年	1999 年 11 月 29 日	売上高	442 百万円(2015 年 11 月期)
事業内容	生産(ハーブ)		
経営規模	田 6ha、生産施設 24,000 m <sup>2</sup>		
従事者数	92 人 うち女性 69 人 (女性内訳: 役員 2 人、一般職 3 人、常勤パート 64 人)		
女性活躍支援	＜女性に配慮して取組み、実績のある制度・支援＞ 産前産後休業、育児休業、短時間勤務制度等の措置、育児休業代替要員を確保、育児休業後の継続就業支援 ＜女性に配慮して取組んだ環境整備＞ 施設設備関係(休憩室・屋内・野外トイレ・シャワーの設置)、重労働等の業務改善		



## ■ 経営概況

(有)久保田農園は、福岡県糸島市と大分県九重町に圃場を持ち、『①多様な顧客ニーズに対応した完全受注販売、②年間安定供給体制(大分県の自社農場、北海道～沖縄県に生産委託農家)の構築、③顧客への新たな商品提案』の経営方針のもと、飲食店向けのハーブ類や特徴的な野菜を生産する経営体である。

代表の久保田真透氏は2代目で、妻と妹の3人で役員を務め、従業員は正社員 11 名、常勤パート 78 名にもものぼる。経営農地面積は露地 3ha 施設 1ha (糸島)、露地 1ha 施設 1ha (九重) の計約 6ha で、海外で調達した種子等を用い約 100 品種もの農産物を

生産している。また、実需者のニーズに合わせてサイズを変えた 400 アイテムを展開し、卸売業者を通して全国のレストランに出荷している。

先代は農家出身で農地を求め久留米市から糸島市に入植し、当時から大葉を生産し労働集約的な作物に取り組んでいたが、アメリカに視察に行った際にコリアンダー(パクチー)の目新しさで見慣れない農産物を使った食文化が発達している様子に衝撃を受け、それ以来約 30 年前からハーブ類の生産を行っている。

## 1. 経営者の意識改革

ハーブに取り組む以前、大葉の生産は細かなチェックや手先の器用さが求められたことから、多くの女性が活躍していた。現在もハーブ類を中心に多種多様な野菜を顧客のニーズ(味・大きさ・彩り)に合わせて生産していることから、女性の「感性」や「きめ細やかさ」が重要であると考えており、従業員の女性割合は 7 割を超える。

生産現場における女性の活躍により、生産

効率や品質が向上し、2014 年と比べ 2015 年度の売上は 2.5 割増、経常利益は 8 割増となっている。

## 2. 女性従業員のスキルアップと働きやすさの実現

久保田農園では 10 年ほど前から従業員を 1 班 4 名体制の班に分け、班員が 1 ヶ月毎にローテーションできるようにしている。従業員の組合せを定期的に変えることで、班中の労働負担が特定の従業員に重ならないようにするためである。

また、作業所の随所には、注文状況と準備状況がリアルタイムで共有できるディスプレイが設置されている。それを確認しながら班ごとに作業ができる体制となっており、販売担当兼役員となっている代表の妹が受発注を管理し、ディスプレイに反映させるという販売の要を担っている。

収穫もパッキングも班で担当する品目を一貫して対応しているため、その品目に関わる様々な作業に携わることができ、収穫作業のみであれば約 2 週間、複数の品目や生産管理を含めると 2 ヶ月～半年ほどで一人前になれる仕組みが構築されている。

## 3. 子育て・出産に係わる制度

就業内容（一日の労働時間、始業・終業時間）は個々の事情に合わせて設定しており、子育て中の従業員は、始業 8：30 のところを保育園に預けてから 9：00 に出社するなど各自の働きやすい労働環境を整備している。また、介護や子育てにより農園勤務が出来ない従業員のために、ハーブ類のミントにおいては内職形態（久保田農園が収穫物を自宅ま

で配達・パッキングしたものを回収）も導入しており、現在 5 名がそのような働きをしている。

## 4. 女性が働きやすい環境の整備

数年前に改築した作業所の 2 階には洋室の他に、和室の休憩室、女性更衣室、男女別のシャワー室とトイレを整備している。キッチンも備え付けてあり、新しい取り扱い品目の試食会を行うなど社内研修にも活用している。

圃場の作業台は女性用に低めに設定しており、パッキングは空調の効いた屋内で椅子に腰掛けて行えるようになっており、いずれも腰への負担を軽減している。

女性役員は日頃から社員とのコミュニケーションを通じて意見を収集し、職場環境や待遇の改善に努めている。前述の班員のローテーションも、試みとして 2 ヶ月周期で行ってみたが、従業員から相談があって再度 1 ヶ月周期に戻った経緯がある等、従業員の意見が反映されやすい職場となっている。

### ★★審査委員の声★★

細やかな作業を苦勞なくこなす女性の特性に適した業種であること、女性なくしては成り立たない会社であることを社長が強く認識しており、積極的に、女性が働きやすい就業条件、職場環境を整える努力をしている。勤務時間は、各人の事情に合わせて対応し、内職形態を試みるなど、可能な限りの対応をしている。役員である代表者の妻や、受発注を担当する代表者の妹も欠かせない存在である。